

1月11日

令和8年度 人間総合科学大学
スカラシップ選抜S日程 問題用紙

生物

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないでください。
2. 出願時に選択した科目と一致しているか確認してください。なお、受験科目の変更は一切受け付けません。
3. この問題冊子は全部で15ページ（表紙・余白ページは除く）あります。
4. 問題冊子と解答用紙の両方の所定欄に受験番号と氏名・フリガナを必ず記入してください。
5. 解答は記述式ですので、各指示にしたがって丁寧に記入してください。
6. 解答時間は60分です。
7. 問題の内容に関する質問には一切応じられませんが、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
8. 問題冊子の余白などは適宜利用してかまいません。
9. 問題冊子と解答用紙の両方とも回収します。

受験番号	
フリガナ	
氏 名	

- 1 次の〔A〕・〔B〕の文章を読み、後の設問（問1～問10）に番号で答えなさい。

〔A〕地球上には多様な環境が存在し、aそれぞれの地域には、その環境に適応した形態と性質を備えたさまざまな生物が生息している。しかし、その一方で、異なる種の生物の間には共通の特徴が見られ、その中で、次の特徴は、すべての生物が備えている。

- ・生物のからだは細胞からできている。
- ・生物は、遺伝情報を担う bDNA をもつ。
- ・生物は、 c代謝 を営む。
- ・体内をほぼ一定の状態に保つ（ア）と呼ばれるしくみをもつ。

このように、生物の間に共通性と多様性が見られるのは、dそれぞれの生物が、共通の祖先から生じ、生息環境に適応しながら進化してきたからである。

問1 （ア）に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 定常性 ② 恒常性 ③ 不変性 ④ 常態性

問2 下線部 a に関し、適応の例として **適当ではない** 現象を、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 陸上で生活するヒキガエルは、ガス交換に適した肺を備えている。
② トビの前肢は、空を滑空するのに適した翼になっている。
③ 海で生活するクジラの前肢は遊泳に適したヒレの形になっている。
④ 単位体積当たりの血液中に含まれる赤血球の数は、低地で生活するヒトに比べ、酸素濃度の低い高地で生活するヒトの方が多い傾向がある。

問3 下線部 b に関する記述として **誤っているもの** を、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① すべての生物は、DNA とともに RNA をもつ。
② 生物の形質は、DNA の遺伝情報に基づいて発現する。
③ DNA は、（C,H,O,N,P）の5種類の元素からなる高分子である。
④ DNA の構造は、らせん二重鎖構造と呼ばれる。

問4 下線部 **c** に関する記述として **誤っているもの** を、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 代謝のうち、合成反応を異化という。
- ② 代謝に伴って、体内への物質の取込みや体外への物質の排出が起こる。
- ③ 代謝の進行には、エネルギーの出入りが伴う。
- ④ 代謝の速度は、温度の影響を受ける。

問5 進化の道筋に基づく下線部 **d** の例として **適当ではない現象** を、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① セミとバッタは、いずれも3対のあしを備えている。
- ② ハトとコウモリは、いずれも空中を飛行するための翼を備えている。
- ③ クリとイチョウは、いずれも種子をつくって繁殖する。
- ④ ワラビとスギは、いずれも水や養分を運ぶための維管束を備えている。

[B] 動物や植物などの真核生物は、DNA を格納する核のある真核細胞からなる。**e** 真核細胞には、核の他、ミトコンドリアや葉緑体、液胞などの細胞小器官があり、それぞれの細胞小器官では、特定の働きが営まれている。また、真核生物の中には、多数の細胞からなる **f** 多細胞生物 が多く存在し、多細胞生物のからだは、**g** 構造と機能を異にする多様な細胞 からなっている。一方、大腸菌やシアノバクテリアなどの原核生物は、核をもたず、**h** 細胞壁と細胞膜に包まれ、i 真核細胞と比べると小さい原核細胞 からなる。原核生物は、真核生物と比べて細胞の構造は単純であるが、生物の基本的特徴を備え、独立した生命活動を営んでいる。

問6 下線部 **e** に関する記述として **誤っているもの** を、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① ミトコンドリアは、すべての真核生物の細胞に存在する。
- ② 葉緑体は、植物以外の真核生物の細胞には存在しない。
- ③ 植物の花弁の細胞の液胞には、アントシアンなどの色素が含まれている。
- ④ 細胞小器官は、膜で包まれた構造をしている。

問7 下線部 **f** に関し、次の①～④の中から、多細胞生物の組合せとして最も適当なものを一つ選びなさい。

- ① ゾウリムシ、ミドリムシ ② ミドリムシ、ミジンコ
- ③ ミジンコ、クリオネ ④ クリオネ、ゾウリムシ

問8 下線部 **g** の現象を表す語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 分化 ② 特化 ③ 分業化 ④ 特異化

問9 下線部 **h** に関し、細胞壁をもつ細胞からなる生物の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① ミカヅキモ、ミジンコ ② ミジンコ、ゾウリムシ
- ③ ゾウリムシ、酵母 ④ 酵母、ミカヅキモ

問10 下線部 **i** に関し、大腸菌の大きさとして最も適当な値を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 0.2 μ m ② 2 μ m ③ 20 μ m ④ 200 μ m

2 次の【A】・【B】の文章を読み、後の設問（問1～問10）に番号で答えなさい。

【A】a 生物の活動に用いられるエネルギーは、直接にはATPから供給される。b ATPは、呼吸によって有機物が分解される過程で合成されるが、c 呼吸に用いる有機物を、植物は光合成によって自らつくるのに対して、動物は他の生物から得ている。そのため、植物は、土壌に根を張って無機物を摂取する固着生活を営むが、d 多くの動物は、食物を求めて移動する生活を営んでいる。e 植物と動物の間に見られる形態における相違は、有機物の獲得様式の違いと深く関係している。

問1 下線部aに関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 生物の活動には、ATPがADPとリン酸に分解されるときに生じるエネルギーが用いられる。
- ② ATPが分解する際には、熱エネルギーが生じる。
- ③ 消化酵素によるデンプンなどの有機物の分解には、ATPのもつエネルギーが用いられる。
- ④ 筋肉は、ATPから化学エネルギーが供給されることによって収縮する。

問2 下線部bに関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 呼吸には、窒素が用いられることがある。
- ② 呼吸には、酸素が用いられる。
- ③ ATPは、おもにミトコンドリアで合成される。
- ④ ATPは、光合成の過程でも合成される。

問3 下線部cに関し、植物のように、必要な有機物を他の生物に依存しない生活を営む生物の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 乳酸菌、シアノバクテリア ② シアノバクテリア、アオミドロ
- ③ アオミドロ、アオカビ ④ アオカビ、乳酸菌

問4 下線部dに関し、動物の中には、固着生活を営むものがある。成体が固着生活を営む動物の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① イソギンチャク、アサリ ② アサリ、ヒトデ
- ③ ヒトデ、フジツボ ④ フジツボ、イソギンチャク

問5 下線部eに関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 植物の細胞には細胞壁があるが、動物の細胞には細胞壁がない。
- ② 動物には消化器官があるが、植物には消化器官がない。
- ③ 動物には神経系があるが、植物には神経系がない。
- ④ 動物には物質の輸送路として働く血管があるが、植物には物質を輸送するための管状の構造がない。

【B】f 生体内におけるさまざまな化学反応の円滑な進行には（ア）を主成分とする酵素が関わっている。酵素は（イ）として働き、化学反応の速度を飛躍的に速める。例えば、過酸化水素が分解して（ウ）になる反応は、常温ではゆっくりと進むが、（エ）と呼ばれる酵素が存在すると短時間で反応が終了する。また、酵素には多くの種類があり、g それぞれの酵素は特定の基質にのみ作用するため、細胞内で進行する多様な化学反応の速度を個別に調節することが可能となっている。

問6 （ア）に入る物質として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① タンパク質 ② 炭水化物 ③ 脂質 ④ 核酸

問7 （イ）に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 媒質 ② 媒体 ③ 溶媒 ④ 触媒

問8 （ウ）および（エ）に入る語の組合せ（ウ、エの順）として最も適当なものを、次の①～⑥の中から1つ選びなさい。

- ① 水素と酸素、ポリメラーゼ ② 水素と酸素、カタラーゼ
- ③ 水素と水、ポリメラーゼ ④ 水素と水、カタラーゼ
- ⑤ 酸素と水、ポリメラーゼ ⑥ 酸素と水、カタラーゼ

問 9 下線部 **f** に関する記述として**誤っているもの**を、次の①～④の中から 1 つ選びなさい。

- ① 酵素は、細胞の外でも働く。
- ② 酵素は、分解反応に関わり、合成反応には関与しない。
- ③ 酵素が関わる化学反応の進行には、ATP の消費を伴う場合がある。
- ④ 酵素は、原核細胞における化学反応の進行にも関わっている。

問 10 酵素のもつ下線部 **g** の性質を表す語として最も適当なものを、次の①～④の中から 1 つ選びなさい。

- ① 基質結合性 ② 基質適合性 ③ 基質特異性 ④ 基質対応性

3 次の【A】・【B】の文章を読み、後の設問（問 1 ～問 10）に**番号**で答えなさい。

【A】生物のからだを構成する細胞は、体細胞分裂によってその数を増やす。体細胞分裂では間期と分裂期が交互にくり返されるが、**a** 遺伝情報を担う DNA は、分裂のたびごとに正確に複製され、新しい細胞に分配される。 DNA の複製は、次のようにして行われる。

- (1) DNA を構成する 2 本の **b** ヌクレオチド鎖が開裂する。
- (2) 1 本になったヌクレオチド鎖（鋳型鎖）の塩基配列に（ア）な塩基をもつヌクレオチドが順に結合する。
- (3) (2) のようにして、**c** 2 本のそれぞれの鋳型鎖に、新生鎖がつくられることにより、もとの DNA と全く同じ塩基対の配列をもつ 2 つの DNA ができる。

問 1 （ア）に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から 1 つ選びなさい。

- ① 対称的 ② 補完的 ③ 補償的 ④ 相補的

問 2 下線部 **a** に関し、DNA の複製が行われる時期として最も適当なものを、次の①～⑥の中から 1 つ選びなさい。

- ① 間期の G₁ 期 ② 間期の G₂ 期 ③ 間期の S 期
- ④ 分裂期の前期 ⑤ 分裂期中期 ⑥ 分裂期の後期

問 3 下線部 **b** に関する記述として**誤っているもの**を、次の①～④の中から 1 つ選びなさい。

- ① DNA を構成するヌクレオチドには 4 種類のものがある。
- ② DNA を構成するヌクレオチドには、リボースと呼ばれる糖が含まれる。
- ③ ヌクレオチド鎖は、一方のヌクレオチドの糖と他方のヌクレオチドのリン酸が結合することによってつながっている。
- ④ RNA は、ふつう、1 本のヌクレオチド鎖の状態で存在する。

問 4 下線部 **c** のようにして DNA の複製が行われるしくみを何というか。最も適当な語を、次の①～④の中から 1 つ選びなさい。

- ① 半保存的複製 ② 両保存的複製
- ③ 全保存的複製 ④ 部分保存的複製

問5 下線部 **c** に関し、鋳型鎖における「ATTCGACTG」の塩基配列をもつ部分に対応してつくられる新生鎖の塩基配列として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① ATTCGACTG ② AUUCGACUG
③ TAAGCTGAC ④ UAAGCUGAC

〔B〕遺伝子として働く DNA の塩基配列は、つくるべき **d** タンパク質のアミノ酸の配列を意味している。タンパク質がつくられるとき、DNA の特定の領域の2本鎖が開裂し、一方のヌクレオチド鎖の塩基配列が RNA (mRNA) に写し取られる。その後、(イ)と呼ばれる次のような過程を経て、mRNA の塩基配列がアミノ酸の配列に置き換えられ、タンパク質がつくられる。

e mRNA の連続する3個の塩基の配列(コドン)は、それぞれ決まったアミノ酸を指定している。 特定のアミノ酸を結合した tRNA が、f コドンに対応する3塩基 ア(ンチコドン)の部分で mRNA に順に結合するのに従って、アミノ酸どうしが次々に結合してタンパク質ができる。

問6 (イ)に入る語として最も適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びなさい。

- ① 解読 ② 解釈 ③ 置換 ④ 変換 ⑤ 翻訳

問7 下線部 **d** に関し、タンパク質を構成するアミノ酸の種類として最も適当な値を、次の①～⑤の中から1つ選びなさい。

- ① 5種類 ② 10種類 ③ 15種類 ④ 20種類 ⑤ 25種類

問8 下線部 **e** に関する記述として誤っているものを、次の①～⑤の中から1つ選びなさい。

- ① コドンには64通りがある。
② メチオニンを指定するコドンは、開始コドンとして働く。
③ アミノ酸を指定していないコドンは、終止コドンとして働く。
④ 異なるコドンが、同じ種類のアミノ酸を指定している場合がある。
⑤ 同じコドンが、異なる種類のアミノ酸を指定している場合がある。

問9 下線部 **f** に関し、コドン「AGC」に対応するアンチコドンの塩基配列として最も適当なものを、次の①～⑥の中から1つ選びなさい。

- ① AGC ② TCG ③ UCG ④ CGA ⑤ GCT ⑥ GCU

問10 ある mRNA において、開始コドンの1番目の塩基から数えて361番目の塩基から始まるコドンは終止コドンであった。この mRNA からつくられるタンパク質を構成するアミノ酸の数として最も適当な値を、次の①～⑥の中から1つ選びなさい。

- ① 119個 ② 120個 ③ 121個 ④ 359個 ⑤ 360個 ⑥ 361個

4 次の【A】・【B】の文章を読み、後の設問（問1～問10）に番号で答えなさい。

【A】ヒトの血液 100mL に含まれるグルコースの量（血糖値）は、空腹時と満腹時では異なるが、概ね（ア）前後に保たれている。食後、血液中に吸収されたグルコースによって血糖値が上昇すると、すい臓のランゲルハンス島からインスリンが分泌される。インスリンは肝臓における（イ）の（ウ）を促すので、やがて、血糖値は低下する。一方、空腹時に血糖値が低い状態になると、ランゲルハンス島からグルカゴンが分泌される。グルカゴンは肝臓に対してインスリンとは逆の作用を及ぼすので、血糖値は維持される。血糖値を上昇させるホルモンには、グルカゴンの他に、副腎髄質から分泌される（エ）や副腎皮質から分泌される（オ）などがあるが、血糖値を下げるホルモンはインスリンのみである。このため、何らかの原因で、インスリンが分泌されなくなると、**a** 血糖値が高い状態が持続する糖尿病になる。**b** 血糖濃度の調節には、こうしたホルモンの他に、神経系も関わっている。

問1 （ア）に入る値として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 0.1mg ② 1 mg ③ 10mg ④ 100mg

問2 （イ）および（ウ）に入る語の組み合わせ（イ、ウの順）として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① グルコース、合成 ② グルコース、分解
③ グリコーゲン、合成 ④ グリコーゲン、分解

問3 （エ）および（オ）に入る語の組み合わせ（エ、オの順）として最も適当なものを、次の①～⑥の中から1つ選びなさい。

- ① アドレナリン、糖質コルチコイド ② アドレナリン、チロキシン
③ 糖質コルチコイド、アドレナリン ④ 糖質コルチコイド、チロキシン
⑤ チロキシン、アドレナリン ⑥ チロキシン、糖質コルチコイド

問4 下線部 **a** に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 糖尿病になると、尿中にグルコースが排出されるようになる。
② 高い濃度のグルコースには、血管を損傷する作用がある。
③ 糖尿病になると、神経障害や網膜症、腎症などの合併症を引き起こすことがある。
④ インスリンを分泌する細胞の破壊が原因で起こる糖尿病を2型糖尿病という。

問5 下線部 **b** に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 血糖濃度の調節中枢は間脳の視床下部にある。
② 副交感神経は、血糖濃度を維持するように作用する。
③ インスリンの分泌は、副交感神経の働きによって促される。
④ グルカゴンの分泌は、交感神経の働きによって促される。

【B】ヒトの血液には、（カ）の造血幹細胞から生じた、赤血球や白血球、血小板などのさまざまな血球が含まれる。これらの血球は次のような働きを担い、いずれも、生命の維持において重要な役割を果たしている。

〔赤血球〕細胞の内部は（キ）で満たされており、（ク）の運搬を行う。

〔血小板〕血液凝固に関わり、血管の損傷に伴う血液の流出を阻止する。

〔白血球〕さまざまな種類があるが、いずれの白血球も生体防御に関わる。

好中球とマクロファージは、自然免疫における中心的な存在であり、体内に侵入した病原体や異物を、活発な（ケ）によって細胞内に取り込んで無害化する。

樹状細胞は、（ケ）によって細胞内に取り込んだ病原体や異物の情報を、**c** 適応免疫を担うリンパ球に伝える。

・リンパ球のなかまのB細胞とT細胞は、適応免疫における主役として働く。B細胞は、病原体を構成する物質（抗原）を認識し、同じ抗原を認識するヘルパーT細胞の働きかけにより活性化すると（コ）に変化し、（サ）からなる抗体を放出する。病原体の活動は、抗体の働きによって抑えられる。一方、キラーT細胞は、病原体の抗原を認識し、ヘルパーT細胞の働きかけを受けると活性化し、その病原体に感染した細胞を破壊することによって病原体の増殖を抑える。

問6 （カ）に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 肝臓 ② 脾臓 ③ 骨髄 ④ 脊髄

問7 (キ)および(ク)に入る語の組み合わせ(キ,クの順)として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① ヘモグロビン, 酸素 ② ヘモグロビン, 二酸化炭素
③ ミオグロビン, 酸素 ④ ミオグロビン, 二酸化炭素

問8 (ケ)に入る語として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 飲作用 ② 食作用 ③ 吸飲作用 ④ 捕食作用

問9 (コ)および(サ)に入る語の組み合わせ(コ,サの順)として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 肥満細胞, タンパク質 ② 肥満細胞, 脂質
③ 形質細胞, タンパク質 ④ 形質細胞, 脂質

問10 下線部cに関する記述として**誤っているもの**を、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 適応免疫は、自然免疫よりも遅れて発動する。
② 再度、同じ病原体に感染した場合には、初めて感染した場合に比べ、長期にわたって多量の抗体がつくれ続ける。
③ 1個のキラーT細胞は、1種類の抗原のみを認識して免疫応答を示す。
④ 予防接種は、免疫記憶のしくみを利用した感染予防法である。

5 次の【A】・【B】の文章を読み、後の設問(問1～問10)に**番号**で答えなさい。

【A】その地域にどのような植生が形成されるかは、気候や土壌などの非生物的環境によって左右される。**a** 日本列島は、降雨量の多い地域にあり、北方と南方で気温の差が大きいため、多様な森林の植生が形成される。一方で、日本列島には多くの火山が分布し、噴火活動に伴って流出した溶岩によって植生が破壊され、裸地が出現することがある。**b** 裸地の環境は、植物の生育には適していないが、やがて、ススキやイタドリなどの草本類が(ア)として侵入して定着が進むと、相観は裸地から草原へと変化していく。その後、土壌の形成が進むと、**c** 陽生植物を中心とする木本類が生育するようになって陽樹林が形成されるが、次第に陰生植物に置き換わり、最終的には、**d** 陰樹を中心とした極相林に至る。

問1 (ア)に入る語として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 先行植物 ② 先駆植物 ③ 先進植物 ④ 先入植物

問2 下線部aに関し、日本列島では見られない森林植生の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 亜熱帯多雨林, 雨緑樹林 ② 雨緑樹林, 硬葉樹林
③ 硬葉樹林, 針葉樹林 ④ 針葉樹林, 亜熱帯多雨林

問3 下線部bに関する記述として**誤っているもの**を、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 裸地には、植物の生育に必要な栄養塩類が全くない。
② 裸地には、土壌が形成されていない。
③ 裸地は、直射日光により、高温にさらされる。
④ 裸地は、保水力に乏しく、乾燥にさらされる。

問4 下線部cに関し、陽樹の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① ケヤキ, アカマツ ② アカマツ, アオキ
③ アオキ, タブノキ ④ タブノキ, ケヤキ

問5 下線部 **d** に関し、西南日本に広く分布する極相林として最も適当なものを、次の

①～④の中から1つ選びなさい。

- ① ブナやミズナラなどからなる夏緑樹林
- ② カラマツやクロマツなどからなる針葉樹林
- ③ アラカシやスダジイなどからなる照葉樹林
- ④ オリーブやゲッケイジュなどからなる硬葉樹林

〔B〕生態系を構成する多様な生物の間には、食う・食われる（捕食・被食）の関係があり、この関係に基づく生物相互のつながり合いを食物連鎖といい、食物連鎖におけるそれぞれの生物の位置づけを栄養段階という。各栄養段階における個体数と生物量を比較すると、栄養段階の上位の生物の方が（イ）傾向が見られる。栄養段階と個体数や生物量との関係は（ウ）と呼ばれる図で表される。

捕食者の生存は被食者の存在に依存しているが、被食者の存在が捕食者の生存に支えられている場合もある。北アメリカの沿岸海域には、ジャイアントケルプ（コンブの一種）が繁茂する生態系が広がっていた。ところが、ヒトによるラッコの乱獲が行われた結果、ジャイアントケルプが減少し、豊かな多様性も失われた。これは、ラッコが減少することで、ラッコに捕食されていた（エ）が急激に増加し、増えた（エ）が大量のジャイアントケルプを食べたからである。このように、ある生物の存在が、直接には捕食・被食の関係にはない他の生物の生存に影響を及ぼすことを（オ）という。また、ラッコのように、栄養段階の上位にあつて、その生態系の多様性の維持に大きな影響を及ぼす生物種を（カ）という。

問6 （イ）に入る文として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 個体数と生物量がともに大きい
- ② 個体数は大きいが生体量は小さい
- ③ 個体数は小さいが生体量は大きい
- ④ 個体数と生物量がともに小さい

問7 （ウ）に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 生産構造図
- ② 消費構造図
- ③ 生態ピラミッド
- ④ 生物ピラミッド

問8 （エ）に入る生物として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① ヒトデ
- ② ウニ
- ③ イカ
- ④ イソギンチャク

問9 （オ）に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 間接効果
- ② 波及効果
- ③ 遅延効果
- ④ 迂回効果

問10 （カ）に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① コアストーン種
- ② コーナーストーン種
- ③ セントラルストーン種
- ④ キーストーン種

（以下余白）